

# 強制収容を語り直す： 日系アメリカ人文学と記憶の再構築



講師：マニユエル・ジョベール 先生  
**Professeur Manuel Jobert**

Université Jean Moulin Lyon 3 教授  
国際関係担当副学長  
フランコフォニー国際研究所（2iF）所長

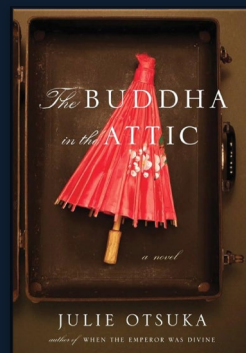
2026年5月25日（月）  
森之宮キャンパス 1112教室

3限 13:15 – 14:45

## ジュリー・オオツカの小説におけるレジリエンスの書法 *L'écriture de la résilience dans les romans de Julie Otsuka*

*When the Emperor Was Divine* / *The Buddha in the Attic* / *The Swimmers*

アメリカにおける日系人移民の歴史を描く三部作—『屋根裏の仏さま』*The Buddha in the Attic*、『あそこ、天皇は神だった』*When the Emperor Was Divine*、そして最新作『泳ぐ人』*The Swimmers*を通して、オオツカの紡ぐレジリエンスの文学的表現を考察する。



4限 15:00 – 16:30

## ヨシコ・ウチダ — 参与文学への擁護

### *Yoshiko Uchida : plaidoyer pour une littérature engagée*

*Desert Exile* / *The Invisible Thread* / *Journey to Topaz*

強制収容の体験者として三種の自伝を異なる読者層（児童・青少年・成人）向けに書き分けたウチダの文体戦略と、過去の不正義を告発する参与文学としての射程を分析する。

